

## Gぼっくす

巨人の戦いぶりに、  
ちょっとした異変が起  
きている。

重量打線のイメージ  
が強いが、交流戦の本  
塁打数が21本で12球団中6位だ  
ったのに対し、盗塁数はトップ  
と2差の20個を記録した。「指  
名打者を使えることで鈴木尚や  
若手を先発で使うことができた  
から、当然、増えるだろうね」  
と伊原ヘッドコーチ。鈴木尚と  
古城が4、坂本と寺内が3、亀  
井と谷が2、松本、加治前が1  
という数字からも、その言葉が  
うなずける。

「セ・リーグほど細かいこと  
を意識しない投手も多く、走り  
やすかった」と振り返るのは鈴  
木尚。印象に残っている盗塁に、  
代走で出場した6月15日の楽天  
戦、八回一死一、二塁で三盗を  
決めたシーンを挙げ、「100  
%成功しなければいけない場面  
だけど、監督が勝負に出て、そ  
れに応えることができた」と胸  
を張る。

事実、原監督も翌日の試合前  
ミーティングで、「クライマッ  
クスシリーズとか、今後の戦い  
の中で勝負する時が必ず来る。  
そういう時は（鈴木）尚広のよ  
うに思い切って行ってくれ」と  
賛辞の言葉を送っている。

試合終盤に代走としてフィー

①	広島	22
②	ソフトバンク	21
③	巨人	20
③	ヤクルト	20
⑤	楽天	17
⑥	日本ハム	14
⑥	中日	14
⑥	ロッテ	14
⑨	西武	12
⑩	オリックス	7
⑪	阪神	5
⑫	横浜	3

交流戦のチーム盗塁数

## いざ勝負 足で決める

08.07.01 佐々木



チャンスでの果敢な走塁が期待される鈴木尚

ルドに飛び出すプレッシャー  
は、並大抵ではない。「見てい  
る全員に『走りますよ』と宣言  
していくようなもの。その中で  
決めるのは、本当に難しい」。  
だからこそ、鈴木尚の準備に抜  
かりはない。ベンチでは相手の  
すべての投手でスタートを切る  
イメージを作るだけでなく、味  
方の投手でも同じ作業を繰り返  
し、反応を速くする訓練を続け  
ている。そういう小さな積み重  
ねが、大事な場面の一つの盗塁  
につながっているのだ。

「その役割は僕にしかな  
いと思っている」との言葉に、  
足のスペシャリストのプライド  
がのぞく。シーズン後半、鈴木  
尚の走塁が勝利を呼び込むよう  
な局面が、必ずや出てくること  
だろう。

(西村海)